

ウ シ ハ コ ベ

Stellaria aquatica

種名



分類	被子植物双子葉離弁花類ナデシコ科	俗称	-	生活型	越年草または多年草、分枝型
分布	日本全土のほか、ユーラシア、北アフリカに広く分布し、北アメリカ東部にも帰化している。				
形態	<p>ハコベ類のなかでは大型で茎が赤く、葉が大きい。</p> <p>根：根は単立。</p> <p>茎：茎は円柱形で紅色を帯び、枝が多い。下部は地面を這い、上部には毛および腺毛があり、斜めに立ち上がり、高さ 20～50 cm になる。</p> <p>葉：茎の上部のものは柄がなく、下部のものは柄がある。卵形ないし、広卵形で長さ1～8cm、幅 0.8～3cm、先は鋭く尖り、基部は円形ないし浅い心形で、両面とも毛がない。葉の表面は少し波打つ。</p> <p>花：花期は4～10月。上部の葉腋に単生するか、集散花序となる。</p> <p>萼片は長卵形で腺毛があり、長さは4～5.5 mm。花は白色の5弁花で、花弁は萼と同長で先は深く2裂する。花柱は5本、雄しべは10本である。花が終わると花柄は下向きに曲がる。</p> <p>果実：果実は蒴果で広卵形、萼より長い。種子は円形ないし楕円形で径約1mm、やや扁平で色は黄褐色、低い乳頭状突起がある。</p>				
類似種	ハコベ(コハコベ)はウシハコベに比べると小型で、茎も葉も柔らかい。越年草または1年草で茎の高さは10～30 cm、葉は卵状楕円形、花柱は3本、雄しべは1～7個で、蒴果は長楕円形である。ミドリハコベ(ハコベ)の形はハコベにそっくりであるが、若干大きい。花柱は3本、雄しべは5～10本で、蒴果はハコベよりやや大きく、下に尖ったイボ状突起がある。				
生息場所	河川敷の湿った泥上に生育するほか、荒地、道端、田畑の周囲にごく普通に見られる。ギンギンとよく混生する。				
繁殖	繁殖は種子で行なう。花期は4～10月の長期にわたり、結実して蒴果をつくる。熟すと種子は植物体の周辺に落下する。				
他生物との関係	蝶類のヤマトジミの成虫の吸蜜植物の1つである。カルガモ、ヒドリガモなどの淡水ガモが食べる。				
配慮のポイント	荒地などに生育する種で、特に配慮はいらない。				
トピック	若草は食用となる。				
その他					

引用文献：『川の生物図鑑』を改変